

令和6年度 学校だより



# 丘の学び舎

所沢市立上新井小学校  
10月号  
児童数 766名  
校長 伊藤 公雄

## ＜学びの秋 ぐんぐんと伸びていきますように＞

朝夕の若干の涼しさを感じ始めていますが、2学期の始まりは、WBGTが31を超え、外での活動の中止、雷雨による下校の中断など、気象には気が抜けません。不審者情報もあり、登下校の見守りをしていただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

今年度の折り返しとなります。学習面や生活面など、子供たちをさらに伸ばすため、一丸となっていきたいと思っておりますので、今後ともご理解ご協力をお願いします。

### ■学力調査結果の返却をしました。

9/24からの週に、4年生以上の児童に、結果を返却しました。[埼玉県が行うこの調査](#)は、学力の伸びにも着目している点が特徴的であり、経年変化から子供の成長も読み取れるものです。また、県のHPには、「[復習シート](#)」もありますので、自宅やコンビニのプリンターで印刷したり、ノートに書き出したりして、家庭でも活用できるようになっています。

子供にとっては、紙と鉛筆ではない方法での回答となり、戸惑う面もあったかと思えます。タッチだけではなく、タイピングでの入力もできるよう、GIGA端末の活用を進めているところです。

6年生が実施した[全国学力学習状況調査](#)の結果を分析しました。概要は次のとおりです。

#### ■国語科について

これまで、文を「書くこと」のうち、友達の意見を聞きながら書くこと等に課題があるとしてきました。この点に関しては、文章の推敲や校正の仕方が課題であるようで、自分の意見と理由を分けて書く際には、段落を付けるなどの指導をしていく必要があります。

また、意外なことに、主語を問う問題や同音異義語の漢字の正答率が低かったです。学期末に行う漢字のまとめのテストでは成果が出ているところではありますが、基礎的な知識面にも着目し、『語彙を増やす指導』をしていかないといけないと感じているところです。

#### ■算数科について

問題量も同様なのですが、1つの設問の文字数も多く、読み取りに時間がかかっているようです。学校では、「聞かれていることは何か」と子供に聞き、求めるものを明確にしてから取り組ませているのですが、全国学テでは、必要の無いものを除外して読み解いていかないといけない問題もありました。

日々の授業では、発表の前に考える時間を確保し、解答のわけを言葉で説明させるようにしています。また、身近なこと、日常生活とのかかわりを意識して、指導に当たること、子供の「将来必要ですか?」という質問にも応えていきたいと思えます。

#### 学校からのお願い

- ①折り返しの電話に時間がかかります。電話対応時間をふれあいデー等を除き、7:50～17:50の10時間としています。しかし、担任は授業や給食指導中であることが多く、すぐに返答できない場合もあります。担任への問い合わせや伝言は、お子さんを通しての連絡帳の方が確実です。
- ②学童の出欠変更はお受けできません。様々な事情があるかと思いますが、電話による口頭での変更はできません。お子さんへの伝言も同様です。

→[学校文書4](#)

- ③車での来校はお控えください。

午後もスクールゾーンが設定されている市内でも稀な学区です。通行可能な時間帯等であっても、自動車での来校は、ご遠慮ください。→[学校文書2](#)

■■■夏休みの思い出（お礼）■■■

回答をいただきありがとうございました。このような方法で、子供から直接連絡が取れるようになっていく時代の変化の速さに驚くばかりです。

私は沖縄に行ったことがあります、宮古島もよさそうですね。リニューアルされた西武ゆうえんちにも行くべきなのかもしれませんね。以前住んでいたインドネシアの話を知ると、羨ましくなり、また行きたくくなります。Terima kasih!

※[学校ブログ R6](#) をご覧ください。